

(1)

# ウクライナ避難家族を支援

## J A三島函南地区と関係団体 食・教育・健康・就労

J Aふじ伊豆・三島函南地区本部と関係者団体が2日、ウクライナからの避難者に対する食、教育、就労、健康のサポート活動をスタートさせた。三島市谷田の同本部で、同市の原ガンナさん宅に身を寄せている家族4人に野菜など支援品を贈り、励ました。

同本部が月1回の野菜や米寄贈、生産者グループ「箱根西麓のうみんず」(前島弘和リーダー)が農業を通じて就労など、三島市の総合格闘技ジム「イギーハンズジム」(遠藤



藤沼常務(左)から野菜を贈られるネジェリコさん(左から2人目)ら三島市谷田のJ Aふじ伊豆・三島函南地区本部



県りさんには仲間の見守る中、最後の第6投で40kg超えを果たし、2位の渡松正二に2点差で競り勝ち、優勝に輝いた。

力している。

この日は、原さんと家族3人(1人欠席)が訪れた。J Aふじ伊豆の藤沼和明常務、前島リーダー、遠藤代表、鈴木代表、鈴木理事長が、原さんの母親ネジェリコ・マリナさんにそれぞれ支援品を手渡した。コペリエブ・ルカちゃん(3)は「どうもありがとう」と日本語で礼を言い、出席者の笑顔を誘った。原さんは「心から感謝します」と家族の気持ちを伝えた。

支援に関する問い合わせはJ Aふじ伊豆・三島函南営農経済センター(電055(971)8208)へ。



湧郷祭・体育の部でクラス対抗長縄跳びに挑戦する生徒ら(伊豆総合高)

一人は2日ウインドで学祭(体育の全校生徒が色に分かれて100m障害物競争棒取りなどだ。長縄跳び抗で実施された。成果を5限時間の5分だけ多く競った。生を掛け合いて縄を跳

## 園児情報、アプリで

三島市は1日、スマートフォンで園児の体調や出席などを市立保育園に報告できる「保育支援システム」の運用を始めた。保護者、保育士の利便性向上、負担軽減が目的で、

### 三島市保育園

### 体調や登

双方方向の各種情報手段として積極的に用していく。保護者が登園時に書きで記入していた